

# 自衛隊体育学校 オリンピックの成果を部隊精強化へ

## リオのメダルへ前進



伊藤 2 曹

## レスリング天皇杯 伊藤、倉本、角、岡 4 階級優勝



倉本 3 尉



角 士長



岡 3 尉

レスリング天皇杯全日本選手権  
12月21〜23日の間、国立代々木競技場第2体育館で開催された平成26年度天皇杯全日本レスリング選手権大会第1日において自衛隊体育学校は女子63kg級で伊藤友莉香2等陸曹が初優勝、グレコ59kg級倉本一真3等陸尉が昨年1昨年に続く通算3連覇（昨年まではグレコ66kg級）を達成。同じくグレコ70kg級で角雅人陸士長が初優勝、岡太一3等陸尉がグレコ85kg級で3度目の優勝と、合計4人の全日本王者を輩出した。さらに、準優勝にはグレコ75kg級清水博之3等空曹、女子69kg級工藤佳代子3等陸曹、グレコ85kg級鶴巻幸一1等陸尉、フリー86kg級赤熊猶弥2等陸曹、フリー125kg級金澤勝利1等陸士の5人に、特別体育課程学生候補者集合訓練に参加している第1施設大隊所属の花山和寛2等陸士（グレコ71kg級）を加え、合計6人。また、集合訓練に参加している東部方面後方支援隊本部付隊所属の田中哲也2等陸士（フリー125kg級）が3位の成績となった。今大会はリオ第1次予選会と位置づけられており、今大会からいよいよリオオリンピックを意識した戦いが本格的に始まったといえる。その大会の全3日間で4人の優勝者、6人の準優勝者を出したことは、リオに向けて幸先の良い出だしとなった。特に伊藤の女子63kg級はオリンピックでメダルの可能性の高い階級であり、ここを制したことは本人だけでなく自衛隊体育学校にとっても、リオに向けて極めて大きな前進と言えるだろう。これまで日本が勝ち続けてきた階級だけに伊藤への期待は大きい。また、大技を連発し注目された倉本はグレコ部門最優秀選手賞を受賞した。

## 坂本 3 度目の優勝



坂本 2 曹の起死回生の飛込みアタックが勝負を決めた

フェンシング全日本選手権  
12月19・20日東京都大田区総合体育館において第67回全日本フェンシング選手権大会男子エペ競技が開催され、坂本圭右2等陸曹が自衛隊体育学校所属後初となる優勝（2年ぶり通算3度目）を達成した。来年の2014年（2年ぶり通算3度目）を達成した。来年の全日本は今年同様12月となるため、坂本は、今回の優勝により、アジア選手権2位とアジア大会団体2位の実績と合わせ、日本人選手として最も高い評価を獲得し、五輪出場枠獲得がかかる来年のW杯及び世界選手権代表を確実にさせた。また、野口隼人3等陸曹は近代五種の選手でありながら、フェンシングを専門にしている強豪選手を押しつけて3位と大健闘、自衛隊近代五種の底力を示してくれた。



坂本 2 曹

野口 3 曹

## 柔道グランドスラム東京



濱田 2 曹

12月5〜7日東京体育館において柔道グランドスラム東京2014が開催され、自衛隊体育学校から出場した今年度サンボ世界選手権王者の濱田尚里2等陸曹が女子78kg級で3位銅メダル。濱田は準決勝でオリンピック王者に敗れ、3位銅メダルを獲得、特に今大会女子78kg級は佐藤瑠香選手（コマツ）が濱田に勝ったハリソン選手に敗れ2位、緒方亜香里選手（了徳寺学園）が5位となり、濱田が日本人2位の好位置をキープ。今後のオリンピック代表レースに名乗りを上げた。濱田にとって今大会は大きなターニングポイントとなった。